

2008年8月29日

各位 殿

全日本金属情報機器労働組合
中央執行委員長 生熊茂実

徳島県労働組合総連合
議長 見田 治

日亜化学の2度目の不当な契約解除への抗議のお願い

貴職のご奮闘に敬意を表します。また、日頃は私たちのたたかいかいにご支援・ご指導をいただき厚くお礼申し上げます。

日亜化学は、偽装請負を告発していた組合員の仕事を再び打ち切り職場から放逐しようとしています。

日亜化学は、労働組合との「3年勤続した請負労働者を順次直接雇用する」などとした約束を反故にし、偽装請負を告発した組合員を直接雇用しないばかりか、契約を解除して職場から放逐しました。これに対し、昨年7月に組合員が労働局に再申告するなか、社会の批判もあって日亜化学は100%子会社の日亜興業名で元の派遣会社シーツービーテックを通じて派遣の仕事を発注してきました。

ところが、本日、派遣元のシーツービーテックからJMIUに「日亜から9月末をもって契約を打ち切るとの通告があったので9月末で雇い止めになる」との連絡がありました。徳島労働局は、8月20日に日亜化学とシーツービーテック対し、偽装請負を認定し、指導したところです。違法な偽装請負で働かせていた日亜化学は、組合員等を直ちに正規雇用すべきであり、告発した労働者の契約を打ち切るなど許されません。また、請負業務を開始したときから告発されるまで偽装請負を続けていたシーツービーテックは、日亜化学の製造請負で現在も求人をしており。今回の仕事が解約されたからと言って告発した組合員を解雇することは許されません。

つきましては、両社に対する抗議のFAXを集中していただきますよう要請します。

記

1. 日亜化学工業株式会社

代表取締役社長 小川英治 殿

FAX 0884-21-0148

例文「日亜化学は、偽装請負を告発した組合員を直ちに正規雇用せよ。契約打ち切りを止める。」

2. シーツービーテック株式会社

代表取締役社長 安宅祥郎 殿

FAX 088-622-6388

例文「シーツービーテックは、偽装請負を告発した組合員を解雇するな」

以上

抗議・要請書

日亜化学工業株式会社

代表取締役社長 小 川 英 治 殿

貴社は、偽装請負を告発した組合員を直ちに正規雇用せよ。契約打ち切りを止めろ。

以上

2008年 月 日

住 所 _____

団体名 _____

代表者 _____

抗議・要請書

シーツーパーテック株式会社

代表取締役社長 安宅祥郎 殿

貴社は、偽装請負を告発した組合員を解雇するな。

以上

2008年 月 日

住 所 _____

団体名 _____

代表者 _____